

総合訪問（第3回）

一人一人の子どもを大切にする教育活動を！

今年度は、管内の小学校6校・中学校2校、合計8校で総合訪問が行われました。
今回は、第3回目の報告として、2校の教育活動の様子を紹介します。



奥州市立水沢南小学校

水沢南小学校では、「自ら進んで学び、心豊かなたくましい児童（南っ子）の育成」を目指し、“チーム南小”の協力体制のもとに、協同的な学びの充実に努めています。

●生徒指導の充実

担任、学年、生徒指導、スクールカウンセラー、総務が連携し、“チーム南小”で、いじめや不登校を出さないよう取り組んでいます。いじめアンケート（困ったことアンケート）は、年2回（6月、8月）行い、いじめの早期発見、早期対応に努めています。

●丁寧な教育相談

家庭訪問や期末の個別面談の他に、年6回「教育相談日のお知らせ」を配布し、希望する保護者の相談に応じています。保護者から提出された申し込み用紙（誰に、どんなことを相談したいか記入）を、生徒指導主事が集約し日程を調整しています。担任の他、校長先生に相談したいという保護者もいます。学校から、相談日を設けて保護者に呼びかけることで、保護者が気軽に学校に相談しやすい環境を作るよう配慮しています。

●教職員の人材育成と学力向上

学級数23、教職員40名以上という大規模校である水沢南小学校では、児童の学力向上を目指し、国語、算数、理科、社会の校内研究に取り組んでいます。それぞれの部



理科の実験の様子

会研究会と全体研究会をバランスよく計画し、同僚性を念頭に、先生方が授業を見せ合い協議することで、お互いの指導力の向上が図られています。

一関市立中里小学校

中里小学校では、「自ら学び、人間性豊かで心身ともにたくましい子どもの育成」を目指し、3つの「つくる」を大事にした、創造性のある教育課程の編成と実施に努めています。

●「授業をつくる」「かかわりをつくる」「感動をつくる」

3つの「つくる」を合言葉に、目指す児童の姿を全教職員で共有するとともに、協働の精神を大切にし、常に成果と課題を明らかにしてよりよいものを求めています。

●「総合的な学習の時間」「生活科」等の充実

総合、生活科、校外学習等を郷土学習と位置付け、一関や中里のよさに気付き感得したり、人間関係能力の育成を図ったりする学習内容を取り入れています。また、



遊水地公園への全校遠足

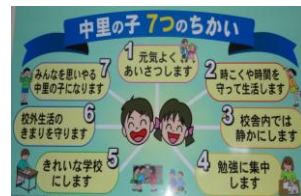
地域人材や地域資源を積極的に活用しながら、地域との連携・協働をもとにした教育を推進しています。

例：郷土芸能（鶏舞）、栽培体験活動、防災、地域学習 等

●学校評価システムの積極的活用

学校経営目標及び「まなびフェスト」に対する各種評価を積極的に活用して教育活動及び教育内容の改善を図っています。

- ・児童による評価（12月）
- ・職員による評価（7月、12月）
- ・保護者による評価（12月）
- ・学校評議員による意見交換（5月、2月）
- ・日常の意見交流等（随時）



学校経営で大切にしたいこと！

《坂川孝志所長の挨拶より》



- ・組織力の活性化（実践・行動目標の共有化）
- ・主体的、創意工夫した実践（学校から発信する気概を）
- ・連携、充実（保護者、地域、関係機関等。まわりの教育資源の活用）
- ・安全、安心な環境（事故、いじめのない学校。心豊かにする実践を）

